

## 村上小学校 統合検討会

令和8年3月5日（木）18:30～ 村上市教育情報センター 視聴覚ホール

参集者：PTA保護者・保育園保護者：6名、学校運営協議会：5名、区長会：7名

学校：2名 合計：20名

### 1 開会

### 2 教育長あいさつ

教育長：皆様、こんばんは。教育長の遠藤といいます。本日はご多用の所、そして夜分お疲れの所、村上小学校統合検討会にお集まり頂きまして、誠に有難う御座います。50名以上の皆様にお声掛けしたんですけれども、まだ現時点でちょっと少ないかなと思ってる次第です。それでも、村上小学校と村上南小学校の学校統合にあたって、一番まず大事な始まりの会ですので、開催させて説明させていただきます。

それにしても、まずもって、謝罪しなければならない事が幾つか御座います。

まずこの資料ですけれども、当日、このような細かい資料を皆様にお渡しして、どう読んだら読み込んだらいいのか、お分かりにならない面もあるかと思います。本当にお許し下さい。

それから、昨年4月25日、学校で説明会を開かせて頂きました。PTA総会の折の短い時間でしたけれども、その後、保護者、小学校の保護者の皆様、保育園、幼稚園の保護者の皆様にアンケート調査をさせて頂きました。それをまとめたのが、今日の資料なんです。それにしても、4月25日から1年経った今日、もう年度が終わろうとしてる時に、この大事な統合検討会を開催させて頂きます事を深くお詫び申し上げます。決して投げておいた訳でも御座いません。このアンケートをどのように活用したらいいのか。それから、給食の調理上の問題。給食提供が可能なのかどうかという事を検討しておりました。更には、スクールバス、どうあればいいのか、どちらかの校舎を使うと、どちらかの子供がスクールバスで通うことを前提としておりますので、乗降者の場所、スクールバスを受入れる場所があるのかどうかという、大きな問題。それから、校舎の古さ。大きさ、そのようなもの、ほぼ同じなんですけれども、そういう傷み具合とか、そのような事も検討しておりましたら、このような開催時期になってしまいました。本当に重ね重ねお詫び申し上げます。

今日はこれから説明させていただきますので、両校の学校統合にあたって、村上小学校区の代表者の皆様はどのようなお考えなのか。限られた時間ではありますが、忌憚のないご意見をお出し頂ければ助かります。教育委員会としては、もう著しい児童の減少、それから両校の校舎の老朽化、もう両校を修繕するお金は御座いません。もの凄いいお金が掛かります。そういう大きな2つの面から、村上小学校と村上南小学校の統合検討しておりますので、どうかご理解頂いて、これから先進めて頂けないものかと思って、今日説明させていただきます。本日は宜しくお願い致します。

### 3 これまでの経過及び今後の予定

市教委：これまでの経過という事で、そもそも村上小学校と、それから村上南小学校が統合というお話になった経緯なんですけれども。それをご説明する為に、カラー版の村上市立小中学校の望ましい教育環境整備計画方針という事で、こちらの方ご覧下さい。一番、私共の方ですね。考え方という、ローマ数字の2番望ましい教育環境に関する考え方という事で、こちらに示してあるのが、そもそもの考え方で御座います。すでに何回か説明をお聞きの方もいらっしゃるかと思います。こちらの考え方の、上から2つ目の望ましい学校規模という事で、小学校は、1学年2学級の通常学級、12学級を目安としますっていう事で書かせて頂いております。今現在市内の各地域で、学校統

合の方の検討に入らせて頂いております。各地域で今進んでおります状況というのが、このパンフレットの一番後ろのページになります。カラーで示してあるんですが、こういう風に朝日地域、それから山北地域でも学校統合、それから中学校の方でも、学校統合という事で動いております。こちらの方、例えば、朝日地域であれば、小川小学校と朝日みどり小学校の統合というお話もあります。こちらにつきましては、既に学校の中で、複式学級が発生しているという事で、こちらを解消したいという事が、統合の一番のポイントとして進めさせて頂いております。村上小学校、それから村上南小学校につきましては、複式学級という形ではないんですけれども、1学年、2学級という規模を維持したいという事で、今回の学校統合というお話が出てきたもので御座います。この1学年、2学級ということの説明につきましては、お配りした資料のA4サイズの資料なんですけど、両面になっております。資料があります。こちらの方に村上小学校、村上南小学校の児童数の推移という事で書いた資料が御座います。こちらをご覧下さい。ちょっと見づらいんですが、太枠、こちらに書いてありますのが、学級にいらっしゃるその学年毎の児童数を推計したものです。令和7年から令和13年まで推計が書いてあります。太枠で囲まれた所というのが、こちらが学年の中で1学級だけという、学年の所を太枠で囲ってあります。1ヶ所ちょっと囲い忘れた所が御座いまして、令和8年の村上南小学校さんの第1学年26名という所があるんですが、こちら、1学級という事になっております。この資料を見て頂きますと、村上小学校さんは、令和7年・8年・9年と、1学年に1学級というのは3つの学年、1つの学年だけが発生するような感じなんですけど、令和10年になりますと、2学年に広がります。令和11年になりますと、2年生それから6年生を除きまして、他の学年がみんな1学年で過ごすという事になります。12年、13年となりますと、それが全学年に広がるという事です。村上南小学校さんにおかれましては、村上小学校さんよりも、もう少し、単学級といいますか。1つの学級数が、広がりが大きくてですね、もう令和7年の段階から、学年の半分は1学級というような状態で、それが少しずつ広がっているというような形になります。こちらを解消したいという事で、計画の方では、令和11年度以降に、学校登校したいという事で、計画を立てさせて頂きました。令和11年の所の、太枠で全体を囲ってあるんですけども、村上小学校、村上南小学校、その下に2校、合計という欄があるんですけども、そちらの方見て頂きますと、当然の事ながら、2校統合する事によって、児童数が増える事によりまして、一番枠の外側にあるんですが、通常学級という所が、全て2学級生まれる事になります。この2学級というのが、やはり1つの学級だけですと、お子さんのクラス替えっていうのが中々できないもんですから、中々人間関係を考えますと、やはり複数のクラスで、クラス替えがあるっていうのが大切だろうという事で、2学級確保するには、令和11年等以降に統合進めたいという事で、このような計画を立てさせて頂きました。そういう考えで、これまでPTA総会とか、席でご説明申し上げてきたんですけども、PTA総会の後、PTAの代表の方々と、両校のPTAの代表の方々と協議する中で、この学校統合に関しては、やっぱり皆さんのお気持ちが知りたいという事で、アンケートを取ったらどうかという事で、アンケートを行った次第です。通常は、もっと統合のお話が進んだ段階で、アンケートを取らせて貰ったりするケースはあるんですけども、今回の場合は、アンケートが早い段階で、広い皆さんにちょっとアンケートを取らせて頂いたものです。今回、小学校同士の統合という事なので、小学校の保護者の皆様、それから今度、小学校に上がられる保育園、それから幼稚園の皆様、こちらの保護者の方にもお声掛けしまして、アンケートを取らせて頂きました。今回アンケートの結果というのが、初めてお示しする機会になります。アンケートの簡単に結果の方なんですけども、説明資料が学校統合に関する意向調査（アンケートの結果）についてという事で、A3版のこの二つ折りにした資料が御座います。これ両面刷りになっておりまして、表と裏と同じようなページの作りになっておりますが、表に見えている部分からちょっと見て頂ければと思います。表に出ている部分の上の方に枠で囲みまして、アンケートの実施機関、それから対象者、対象世帯数、それから回答して頂いた世帯数、回答率という事で、上の方の枠に書いてあります。こちらの方には、村上小学

校、村上南小学校の保護者の皆様、両校区内にある保育園、幼稚園の保護者の皆様、それから、他の学区から、他の地域の保育園に行ってるんだけど、村上小学校、村上小学校に進学し、就学するという保護者、こちらの方にもお声掛けしまして、アンケートを取りました。お願いした世帯数が、小学校では391世帯、保育園、それから幼稚園の方につきましては212世帯、そのうち回答頂きましたのが、小学校からは163世帯、保育園の方からは、保育園、幼稚園の方からは110世帯という事で、率にしますと、小学校は約42%、それから保育園の方は52%、トータルで計算しますと、45%という事で、半分には届かなかったんですけども、4割以上繰り上げると半分ぐらいの回答は頂けたようなアンケートになっております。

アンケート結果です。質問項目が、まず初めに、村上小学校と村上南小学校の学校登校について、どういうお考えですかというのを聞きました。それから学校統合で不安な事・気になる事は、何ですかという事で、こちらの方から項目を示しまして、3つ選んで下さいという質問をしました。最後に、学校統合した場合に、村上小学校の校舎と、それから村上南小学校の校舎とどちらがいいですかという、そういう質問をしました。その結果がこちらの方に、順番にまとめてあります。

まず、学校統合につきましては、村上小学校、村上南小学校、合算した数字なんですけども、賛成、どちらかといえば賛成、どちらとも言えない、どちらかといえば反対、それから反対、こういう5項目でお聞きしました。この質問の中で一番多かったのは、どちらとも言えないというのが36%で最も多かったです。

続きまして、どちらかといえば賛成で、その次が賛成、それから、どちらかといえば反対が。続きまして、最後は反対ですという方が一番少なかったというような結果です。保育園、幼稚園につきましては、その下の段になりますが、こちらにつきましても、やはり一番多かったのは、どちらとも言えないというのが多かった数字になります。こちらの方、まず5つの項目で分けてあるんですけども、これを例えば、賛成どっちでもない、反対みたいによくある3つに分けるとなると、賛成、どちらかといえば賛成をまとめると、大体44%、どちらかと、どちらとも言えないが38%、それから、どちらか反対と、どちらかといえば反対合わせると、17%という事で合算してしましますと、賛成の方に近い意見の方が多かったのかなというような結果になりました。賛成、それから、どちらかといえば賛成、またはどちらとも言えない。それから反対、どちらかといえば反対という、その質問項目ごとに、そうやって、それを選んだ理由というのを、お聞きした設問がありましたので、その結果を下の方に文書でまとめてあります。

全部の意見を載せる事がちょっとできなかったのも、同じ区分けしましての質問、回答ごとにその3ポイント、3名の方から3名以上の方からご意見頂いたものだけ、こちらに記載してあります。小学校の方ですと、一番多かったのは、児童数の減少により、学校等はやむを得ない、こういう風な意見の方が29件御座いました。保育園の方のご意見の方でも、やはり児童数の減少による、やむを得ないというようなご意見、これが19件御座いました。その他にも、小学校の方ですと沢山の人と関われるからとか、あとそれから教職員の先生方とか、教材など、限られた資源を有効活用できるとか、それから学習環境の維持向上に重要とか、子供の輪が広がる、それからクラス替えができるとか、そういう意見も小学校の方頂きました。保育園の方は、やはり小学校とも似ているんですが、沢山いた方が活気が出るとか、そういう所が意見としては多かったような気がします。

続きましては、どちらとも言えないという方です。こちらにつきましても小学校は、学校統合によるその環境変化が心配という方が一番多かったです。保育園の方につきましては、通学距離が長くなるので、登下校が心配という意見が多かったです。

最後、反対どちらかといえば反対の方ですが、小学校の方ですと、校区が広がって登校が大変になるという意見が一番多かったです。これは保育園の方も同様でした。

その次ですね、学校統合で不安、気になる事をお聞きしました。こちらにつきましては、項目沢山設けたんですけども、小学校の方では、通学距離を心配するお声が高

かったです。続いて、子供の人間関係っていう所、それから体操着や学用品というのが続きました。保育園でも、一番通学方法や通学距離というのが、一番の数値としては多いご意見でした。続きましては、子供の人間関係となっております。その他の意見というのが、13名の方に頂きましたので、こちらに示してございます。最後の設問ですが、学校統合後の校舎、こちらにつきましては、村上小学校区の小学校、それから保育園、幼稚園と、それから村上小学校区の保育、小学校、保育園、幼稚園と、それぞれに分けてお聞きしました。そうした結果、当然ながら、皆さんお住まいの今通っておられる学校がいいという方が一番多い意見でした。ただ、どちらの学校行くにつきましても、どちらとも言えないという意見が3割程度ございました。

織り込んだ用紙を開いて頂きますと、こちらと同じような項目です。こちらは表面と違うのが、この内側の面は、村上小学校区だけに限りまして、集計し直したものでございます。村上小学校区の小学校と保育園の皆さんの意見だけを集めて、集計し直したものです。加えて、低学年、令和11年になりますと、統合、学校統合がされた場合に、今現在、小学2年生のお子様新しい学校で、小学6年生として過ごす事になりますので、小学校2年生よりも以下の学年で切り分けて、集計し直した結果もここに示してございます。ただ、全体としては、先程お示した傾向と同じ傾向がやはり見られました。これが、学校統合に関するアンケートの結果の概要となっております。

それから、2枚重ねして織り込んだ意見。こちらにつきましては、これもアンケートの結果なんですけども、こちらにつきましては、アンケートの最後に、その他という事で、項目を設けまして、学校統合で不安、それから気になる事がありましたら、お書き下さいという設問を設けまして、項目に関わらず、ご意見を頂いたものをお示ししてあります。ただ、個人が特定されるような内容ですとか、その辺につきましては、少し削らせて頂いた部分も御座います。

上の方から、賛成、それからどちらかといえば賛成の方、こちらを小学校のご意見、それから保育園のご意見という風に順番に示してあります。その裏面にいきますと、真ん中辺りにですね。2裏面のどちらとも言えないっていうのが、こちらがどちらとも言えないよう選択された方のご意見です。上の方が、小学校から始まりまして、それから保育園という風にいきます。3枚目の方、最後のページになりますと、上の方が、どちらとも言えないと保育園・幼稚園のご意見から始まりまして、最後、真ん中の方で、反対、どちらかといえば反対を選ばれた方のご意見を小学校、保育園の順番で示して御座います。

こちらのご意見何ですけれども、これは村上小学校区、それから村上南小学校区全て合わせた方の意見です。両校区の意見となっております。皆さん量の多い少ないはございますが、非常に沢山ご意見を頂いております。学校統合につきましてはアンケートのつきましては、数字的にはどちらとも言えないを選ばれた方がやはり単独の数字では多かった事を踏まえまして、今後も協議の方は丁寧に進めていきたいという風に思っております。

今後の予定の方なんですけども、先程、児童数の推移の方をお示したA4版の紙の裏にですね、学校統合の統合検討のスキームスケジュールというのがお示してございます。こちら、令和7年度から始まりまして、最後、令和11年度まで書いてあるんですけども、こちらは令和11年度に開校するという場合のスキームスケジュールという風になっております。本日、最初の統合説明会からあるんですけども、本日の会議につきましては、こちらのローマ数字のⅠ統合検討会という事で、こちらを学校単位で行っていくという、これが本日の会議になっております。

もし、こちらの次の段階進めるという事になりましたら、まずその隣にあります、報道等を検討会という事で、こちらにつきましては、村上小学校区の皆様と、それから村上南小学校区の皆様と一緒に検討して頂く。そういう会議が、次の行動等を検討変えていく風になっております。

その場で統合が進むという事になりましたら、最後のローマ数字のⅢ番の統合推進委員会という風に進んでおります。合同統合検討会っていうのは、今回お声掛けした

中の皆様の中から、何名か出て頂いての会議になります。Ⅲ番の統合推進委員会というのは、更に絞られた人数でのが、校歌とか、校章とかそういうあたりまで決めていく会議になっております。

今回、お時間の都合も御座いますし、資料も皆様のご意見を沢山頂いております。アンケートの中身見ていく中でも、かなり具体的な話にもなっております、そういう部分につきましては、貴重なご意見ですので、今後もアンケート頂いた中身を、できれば合同統合検討会という風な席で、検討を重ねていきたいという風に、こちらの方では考えております。

すみません。こちらの方から一方的にご説明させて頂きました。今日お持ちしました資料につきましては、一通りご説明させて頂きました。質疑応答に限らず、今回お配りした資料の中で、ちょっと疑問に思う点とか、説明が足りない部分とかございましたら、更に追加で説明させて頂きたいと思いますので、ご意見頂ける方は挙手して頂ければ、マイクの方をお届けしたいと思います。

#### 4 質疑応答

保護者： お疲れ様です。ちょっと質問なんですけども、アンケートの内容とかからだ、村上市が目指す子供の姿の内容って、ちょっと変わってない気がするので、ちょっとその教育委員会さんの方で、子供の姿を目指していく上で、どのような事を統合に関して考えてるか、ちょっと教えて頂きたいです。

市教委： 有難う御座います。村上市の方の目指す子供の姿という事だったんですけども。こちらの、カラーのパンフレットの1ページ目の表紙の方にお示した、こちらの方が、村上市が目指しております、お子様の姿という事で御座います。

教育長： あわせて、このカラー版の3ページの所に言葉で記載させて頂いております。望ましい教育環境というのは、どのようなものを目指しているのか。もう子供達にとって望ましい教育環境です。地域でもなく、大人でもなく、子供達にとってどういう環境が、地域の子供達にとって良いのかという視点で、1ページにある村上市が目指す子供の姿に迫る環境づくりをしたいと思って、提案させて頂いております。

保護者： はい、有難う御座います。では、この姿に向けて統合を進めるという事で宜しかったでしょうか。

教育長： はい。

保護者： はい、有難う御座います。

参加者： やっぱり保護者からすると、校舎内使うものとか、いわゆる通学路、本当に安全なものとか、あと学校での借りてる授業、やっぱ総合学習でしたりとか、生活科だったり、やっぱり地域に自信と誇りを持ち、里に生きている事を村上市に愛着を持てる教育をするには、やっぱどっちがいいんだろうって考える保護者は少ないと思うんですね。いや本当は一番大事だと思うんです。でもやっぱり、自分の家が近いとか、中学校は村上東中学校校舎を使うから、村上南小学校がいいんじゃないかな。やっぱりその教育についても、しっかり考えてらっしゃる方がどう考えてるのかなっていうのを、保護者はやっぱり気になるんですね。ここには、やっぱ先生たちの意見とか、校長先生とか、教育委員会とかが、それぞれどっちの学校使ってどういうメリットがあるのか、

どういうデメリットがあるっていうのは書かれてないんですね。確かに、統合を推進していく中で、文科省からも地域の方の理解やアンケート等って、意見を伺う事っていう風に、確か明記されているんですけども、やっぱり教育のプロである先生方の、やっぱりお考えっていうのをお示ししていく事も大事なんじゃないかなっていう風に、私は思っています。以上です。

教育長： はい。有難う御座います。おっしゃる通りだと思います。どちらとも言えないという考えの方が3割以上のいるというのは、今言われたように、村上小学校の校舎を使うんだったら賛成だよとか、村上南小学校だったら反対だよとか、そういう方もかなりいるんじゃないかと思います。また逆の考えも。そういう中で、どちらの校舎を使用するのかというのが、本当に大きな、結局視点になってるんだと思います。それにあたって、どちらがいいのかっていうのを、教育委員会なり、教員なりが指摘できる事もあるんですけども、皆様方のご意見を伺って、先程私、給食の話とスクールバスも、お話をさせて頂きましたけれども、そういう点、教育委員会の考えも御座いますが、それがクリアにならないと、使用校舎決まりませんので、皆様方からもご意見頂きたいんです。ただし、給食については、当初どちらの調理場も狭いのではないかと、使用できないのではないかと思って、新しい給食、調理場給食センターを建設して、それができなければ、給食の保証が提供できないよと考えていたんですけども、そうではなく、どちらの調理場を使っても、調理は可能だという事が分かりましたので、給食については、ひとまずクリアできております。教育委員会が考える一番の大きな問題は、やはりスクールバスの場所、その辺も可能性としてどうあればいいのか、ちょっとご意見頂けませんかでしょうか。

参加者： 今の何ですか、ご提案といいましょうか、お話の中でですね、どうもね、このアンケート見てもそう何ですが、物理的な条件が最優先されて、統合について進んでいるんじゃないか。その中にですね、私の非常に心配してる1つです。何かっていうと、自治三訣。非常に深く、村上の小学校を上がった人達が、耳に染み込ん出るんですね。その辺のあたりは一体どうなるんだろう。これが非常に心配するんですね。スクールバス、給食室、そういった事よりもですね。基本的な子供達を教育していくという立場、そういった考え方、それをしっかりやっぱり植えつける為には、どのような教育方針っていうのか、そこから私は議論していくべきじゃないかと。こんな風に考えますが、あと3年、私の寿命がそこまで持つかどうか、かなり心配で、今聞いてみました。以上です。

教育長： はい。今のお言葉有難う御座います。私も村上小学校の校長を務めたので、自治三訣については、本当に地域の方も保護者の方も子供達も、口ずさめる人のお世話になるよう、人のお世話をするよう、そして報いを求めぬよう、よく私は存じてます。その自治三訣、後藤新平のそういう思いというのは、どちらの学校校舎を使おうか、校名がどうなるのか、とにかく一緒になっても、この村上の子の為には残さなければならぬ大事な指針だと思いますので、教育課程を作り上げる時に、尊重できるようにして貰いたいなと考えている所です。有難う御座いました。

参加者： 先程バスの事で乗り降り等、今もどちらの学校も、現状の校舎の状態で、安全にバスが取り入れられるかって、ちょっと難しいと思うんですけども、そうすると改修工

事が必要になると思います。ちなみに、想定してる予算っていうのはどれぐらいなんですか。新たな土地を購入して、そこでバスを通して子供達を乗り降りさせる。そういったプランとか、拡張工事をするとか。そういった所を考えて、例えば村上小学校の校舎だったら、市の体育館の方を少し潰して、あそこをロータリーにして、村上南小学校を使わなかったら、市の体育館にするとか、そういう選択肢もあると思うんですね。村上南小学校だったら、先生方が停めてる駐車場の所を潰してロータリーにするとか、何かそういった、どれぐらいの予算があって、どういった事を選択肢があるよって示されてない状態で、バス乗り降りどうですかって聞かれても、正直分からないですよっていう話になっちゃうのかなと思いました。

教育長： はい。おっしゃる通りだと思います。少なくとも村上小学校の校地内には、私はバスのロータリーを作る事はできないと思います。グラウンドを使ってってなっても、私は難しいと思いますよね、校長先生。となると、村上小学校の校舎が使えないのかっていう事になるんですが、例えば今、学校のすぐそばに再裁判所の広い空き地が御座いますよね。あそこは国の敷地なんです。あそこをお借りすれば、村上小学校の校舎も活用できるのではないかと、その為には交渉しなければなりません。村上南小学校の方は、グラウンド等がかなり広いので、グラウンドの一部をロータリーにする事はできるのではないかと思います。ただし、今ご指摘頂いたように、県営住宅と、それから職員が今駐車しているあのスペース、あの道路を、何とかしなければ、職員の車を別の所に持っていったりしなければ、ロータリーに行き着くまで容易でないですし、それからちょっとあそこも、大きな道路から入りづらい。できない事はないんですけども、とにかく改修しなければならないと思います。予算の事は、全然気にされなくて結構です。必要な工事は、きちんと致します。だから、それはご心配なさらなくて下さい。ただ本当に難しい問題で、まだ教育委員会としても、解決策できておりません。ただ、どちらの校舎を決めるっていう段になったら、何らかの対処方法を考えます。

参加者： ありがとうございます。

保護者： 市の目指す子供の姿、施策の方を見させて貰いましたけども、村上小学校・村上南小学校それぞれ家庭関係もありますし、通っている保護者の方とか、地域の方々は、今自分がいる学区の学校を推すっていう事が当然だと思うんですけども、そういったそういう色々な思いとかを除いて、この子供の姿、目指す子供の姿を、まず目標達成できるには、どちらの学校がいいのでしょうかっていう市の考えが見えていないなっていうのと、あとアンケートを取った時に余りにも枠組みが広すぎて、そうすれば多分、言いたい事を皆さん言ってくるかと思うんですね。なので、もう少し市の方で、ちょっとある程度考えた方向性を示した上で、アンケートとか取らないと、意見が二分して、まとまらないままかなっていう風に思います。あとは、このスキーム、見させて貰いましたけれども、これを見てたら、あんまりにも広すぎて、具体的に学校はいつ決まる予定で動くのかなっていうのが、全くちょっと見えないなっていうのが思いましたので、そのあたりの市の考えを教えてくださいと思います。

教育長： はい。いつ、まず最後の、いつ動くのかという部分ですけども、仮に2つの学校の皆さんに、村上市が目指す統合賛成して頂ければ、先程説明させて貰ったように、

合同検討会というのに移ります。そこで、使用校舎、それから統合年度、それから統合のあり方、両校閉校するのかなとか、片方が片方の学校に入るとか、そういう事を決定します。そうなった時に、その方向が見えた時に、先程給食の話もそうですし、スクールバスの受け入れの話もそうですけれども、具体的に、財政等と協議していかなければならないという流れになってきます。どちらの学校が、その目指す教育に結びつくのかと言われても、どちらも伝統のある学校ですし、それぞれ優れた教育活動をされておりまして。だから教育委員会として、村上小学校の方がいいとか、村上南小学校の方が環境いいとか、そのような事を申し上げる事はできないと思っております。

保護者： 有難う御座います。そうしたら、統合検討会で、例えばどの段階で何%の賛成が得られたら、次に進むとか、そういう所は全くないままで来ると 11 年の開校って難しいと思うんですけども、大体どのぐらい保護者から賛成を貰ったら、決めるっていうのは決まっているんですか。

教育長： はい、大事なご指摘有難う御座います。基本的には、今日 50 何名の方にご案内して、今 20 名弱でしょうかね。の方しかお見えでないですけれども、この統合検討会で、この今お集まりになられたメンバーの方々が、次に行っていくですよ、村上小学校区は合同検討会に進んでいいですよという、皆様方のご了解が得られれば、今人数が足りないから、またもう 1 回やろうよって言われても、中々皆さんも大変でしょうと思いますし、もう決めるしかないんだと思います。そして、合同検討会にいた、なりましたら、同じ人数ずつ委員の方を招集させて貰います。そして、欠席される時も委員状を提出して頂いて、大事な校舎の選択、統合のあり方、最終的には多数決で決まる事がこれまで多かったです。その時どういう選択をすればいいのかという事を、委員の皆さんにお示しして、判断を仰いで貰う事になります。以上です。

参加者： はい。度々失礼します。先程お話で、スクールバスの利用という事だったんですけど、バスに乗車する事っていうのは具体的に、通学路が何キロ以上とかって、なんでしょう。規制とかはあるんですか。

課 長： はい。今市内でスクールバス運行していますが、その規定は、徒歩 2 キロ以上のエリアがスクールバス送迎のエリアとしてやっています。ただ統合に関しては、統合によって、現在の学校から学校が遠くなるエリアの子供達は、スクールバス送迎にしようという事で、これまでの所ではそのように進んできておりました。

参加者： はい。有難う御座います。今ちょっとなんですけど、村上小学校になるとしたら、遠いのが多分山居町 2 丁目とか、肴町だとその距離ちょっと調べたら、2 キロとちょっとなんですよね。村上南小学校になった時に、多分一番遠くなる石原を調べたら、そこは 3 キロ越えるんですよ。保育士だった経験があって、3 歳、4 歳ぐらいの子達、3 キロ歩かせる事って結構あったんですよ。安全の観点と考えると、バスの方がいい場合もあると思うんですけど、その辺の中で 2 キロっていうのはどういう基準なんだろうかな。

課 長： はい。以前はもっと距離は長かったんですけども、最近、熱中症、夏場の熱中症対策もあって、保護者の方から非常にスクールバスにならないのかっていう要望が多

く出てきて、あと最近はクマ対策もあります。市街地でもクマ出たりしますので、そういった面も含めて、やっぱスクールバスに乗せて欲しいという保護者の方からの要望が非常に多いのが現状です。そういった事も受けまして数年前、2キロっていう風に距離を縮めた経緯がございます。

参加者： はい。有難う御座います。

参加者： はい。すいません、宜しくお願いします。進めさせて頂きたいんですけども、私共の兄弟関係が、村上小学校には子供がいらっしゃっているんですけども、村上南小学校のこの総合学習とか全然こうイメージがつかなくでしてね。やっぱりこの地域をフィールドにした街探検だったり、地域の方をゲストティーチャーとしてこう呼んだり、色んな地域の特産物を扱うような教育から文書を早速されていて、本当に親としては、この地域を子供達が凄いい好きになるような理論化が見込まれてるなっていう事で、凄く有り難いなと思っています。ぜひ村上南小学校さんの総合学習についても分かる範囲でいいので、少しお話聞いて、向こうのコースだったら、こんなカリキュラムが作れるんだなっていう、もう少しイメージが湧くような話をして頂けると有り難いなと思っています。可能であれば宜しくお願いします。

校長： 村上南小学校も勤務した事がありまして、総合的な学習をしていました。正直、村上小学校の方をどうかって言われると、やっぱりちょっと熱量が違うかなってのは正直な気持ちです。ただ、村上南小学校でも同じように、作業は勿論ですし、地域の事を学習しますし、本当に地域の方に来て頂いて、総合的な学習を進めるって事は、それはやっています。なので、村上小学校の方がいいよっていうような様子は、ちょっと中々申し上げにくいんですけど、でも共によくやってる。本当にそれぞれが、それぞれ良さを発揮しているなって思っております。ちょっとまた、別の話をさせて貰っていいでしょうか。うちの場合は、8年度の児童数の推移表を見て頂くと分かるんですけど、前回、8年度の1年生は30、通常計33人っていう風になっているんです。この33って、本当にギリギリで、1人転出があると、もう1学級になるんです。なので、もう来年度、もしかすると、1学級の学年が2つできる。そうすると、簡単にいうと職員が2人減るんです。既に今、5年生が今度新6年生の1学級なので、今1人しかなくて、そうやって考えると、もう年々それが進み、12年の所見て頂くと、村上小学校の通常級、もう既に1学級という事は、6人職員が減る。これは非常に大きくて、あと教育活動を進めていく事を考えると、今、私、本当に充実した教育活動ができてるなって、本当に有り難いと思ってるんですよ。それが職員の力が非常に大きくて、そこからすると、職員数が余りにも減り過ぎるっていうのは、非常に大きく影響出るなと思って。だからやっぱり、教育委員会が言うように、何とか2学級にするっていうのは、本当に大事な視点じゃないかなというように思っています。はい。以上です。

参加者： はい。前ですね、統合する話の時に、建物の耐震性っていいですか、確かに50年経って、50年弱だったかなと思ってるんですけども。両方とも。これがあと4年後に、建物としては大丈夫なんでしょうか。進行性できるできないとか、そういう考えはあるんでしょうか。

教育長： はい。両方の校舎とも耐震性は問題、補強工事しておりますので、問題はござい

せん。ただ、やはり今、手を加えないと、どんどん壁とか、傷んでくるんです。傷んできますので、本当にそれが、それを全面的に、もう戸が、窓が開かないとか、開きづらいとか、もう色んな支障が出てきておりますので、一刻も早く、長寿命化工事というんですけれども、あと、もう 20 年持たせるような、工事をしたいんです。したいけれども、やはりかなりの額が掛かっちゃいます。それを両校にする事は、とてもこの少子化の中でできないと判断しておりますので、どちらかの学校にさせて貰いたいんです。安全安心な校舎というのは、ご指摘の通り何より大事な事だと思っております。

保護者： 本日の、今から多数決を取って、統合する事が決まっていたんですけども、村上小学校の参加 20 人だけで、もし次の村上南小学校の方で 50 人近くしたとして、多数決でどちらも決めてしまうのかと気になりました。

教育長： ご心配頂きまして、有難う御座います。今回お決め頂くのは、統合という方向に持っていった方がいいかという事だけです。どちらの校舎を使うとか、統合の仕方がどうなるのか、それは次のステップです。教育委員会が考える令和 11 年度 4 月の学校統合に、賛成頂けるかどうかという事なんです。そこまで、そこまでが、今日の統合検討会での出して頂きたい結論なんです。ただ、少ない人数でちょっと責任が重過ぎるとか、そう言われると、中々またお集まり頂かないと駄目ですし、何人だったらいいのか。私は、仮に少なくともご決断頂ければいいのではないかなと思ってるんですけれども。今後何度も、または学校にも地域の皆様にも説明は入って参ります。

市教委： 大変色々なご意見頂きまして、有難う御座いました。最後の方からお話があれれば、こちらからも答弁させて頂きました通り、この会で持って村上小学校としての、次のステップ、村上南小学校との合同の統合検討会議、進ませて頂いて宜しいかという了承を頂ければという事になります。ちなみに、村上南小学校さんにつきましては、この村上小学校さんと同じような会を来週月曜日に予定しておりまして、そこでも全く同じように進めさせて頂いて、また皆様から了承頂ければという風に考えております。この場にいらっしゃる皆様に、繰り返しになって恐縮ですが、今後、村上小学校さんと村上南小学校さんを統合する、次のステップの合同の統合検討会に進ませて頂くという事で、了承頂ければと思いますが、いかがなものでしょうか。

参加者： 次に進まなきゃいいのっていう部分、判断できないんじゃないですか。

市教委： はい。おっしゃる通りで、今、皆様方から色々出して頂いた疑問点ですとか、そういった所は、次の実際相手方との話し合いの中で、決めていかなければならない点も、大部分だと思いますので、その次のステップに進ませて頂くという事です。

参加者： うまく話ししなきゃだめだよ。

市教委： ここの前にお配りしました、このスキームスケジュールにつきましては、4 月以降の話になってしまうんですけれども、4 月以降に村上南小学校さんとの合同検討会に進ませて頂くという事で、了承頂けますという事で宜しいでしょうか。

参加者： 良いも悪いも、しなくちゃいけないんだからね。

市教委： ありがとうございます。

参加者： もう少し強く言って頂いて、いいのは分かりますよ。もしだったら、南と一緒にやっても良いくらい。別に喧嘩してる訳でも、何でもないですし。

市教委： はい。お声がけも頂きましたし、次の統合検討会議、合同検討会議、進ませて頂くという事で承頂いたという事で、教育委員会として捉えさせていただきます。大変どうも、有難う御座います。

教育長： 有難う御座いました。

市教委： 皆様、有難う御座いました。会議から開始から1時間経過しまして、長い時間、ご協議頂きまして、本当に有難う御座いました。本日のアンケートの結果につきましては、これから村上南小学校さんの説明会も終わってからなるかと思いますが、アンケートにお答え頂きました、皆様にも共有したいと思っております。それでは、本日の村上小学校様の統合検討会の方、閉じさせて頂きたいと思えます。夜分関わらず、長い時間有難う御座いました。今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。